

# バランスシート



## 資産や負債の状況がわかります

学校や道路など市が所有している施設や現金などがどのくらいあるのか、また、そのために使われた財源を示したもので、どのようにお金が調達され、また、そのお金をどのように活用しているのかが分かるようになっていきます。

借方・貸方が同額でバランスがとれていることから、バランスシートといわれます。貸借対照表ともいいます。

### 高山市のバランスシートを総資産1,000万円の家庭に例えると…

#### 借方【資産の部】

##### ●有形固定資産……860万円

家、土地、車、テレビ、洗濯機、冷蔵庫など



##### ●投資的資産……77万円

養老保険、住宅積立貯金など



##### ●流動的資産……63万円

現金、普通貯金など

資産合計 1,000万円

#### 貸方【負債の部】

##### ●負債…283万円

住宅ローン、自動車ローンなどの元金



##### ●正味資産合計…717万円

負債・正味資産合計 1,000万円

#### ●有形固定資産

学校、道路などを建設するのに使ったお金の総額です。道路や建物などの建設費は、価値を見直す減価償却をしています。また、土地代は購入時点の価格で計上しています。

#### ●投資的資産

関係団体への出資金やまちづくり基金、緑の基金などに蓄えているお金です。

#### ●流動的資産

現金のほか、必要時にすぐに現金化することができる基金、市税など市に納めてもらうお金のうち、まだ収入されていないお金も含まれます。

### ●平成19年度（ ）内は平成18年度

## 高山市の普通会計

#### 借方(資産の部)

##### 有形固定資産

学校、道路、橋、市庁舎など

**2,020億7千万円**  
(2,041億1千万円)

(うち土地 **561億円**)  
(556億1千万円)

##### 投資的資産

基金(固定的なもの)、出資金など

**181億5千万円**  
(184億5千万円)

**流動的資産** 現金預金、基金(現金化が容易なもの)未収金(税など)

**147億2千万円**  
(141億6千万円)

資産合計 **2,349億4千万円**  
(2,367億2千万円)

## 市民1人あたりの

#### 借方

##### 有形固定資産

**213.7万円**  
(214.8万円)

(うち土地 **59.3万円**)  
(58.5万円)

**投資的資産 19.2万円**  
(19.4万円)

**流動的資産 15.6万円**  
(14.9万円)

資産合計 **248.5万円**  
(249.1万円)

## 負債総額は約42億円の減少

バランスシートを読む

「貸方」は、資金の調達方法で、市がこれまでどうやってお金を集めてきたかを表します。

一方、「借方」は、資金の使用実績で、資金が何に使われ、どれだけ資産が残されているかが分かります。

資産の約9割を占める有形固定資産では、防災行政無線の整備、北小学校や中山中学校の整備などにより資産の整備は進みましたが、総額では減価償却などにより、前年度に比べて20億4千万円減少しました。

なお、負債は、借金(地方債)の残高で34億9千万円、職員削減による退職手当引当金で7億5千万円減少したため、総額で42億4千万円の減少となりました。